

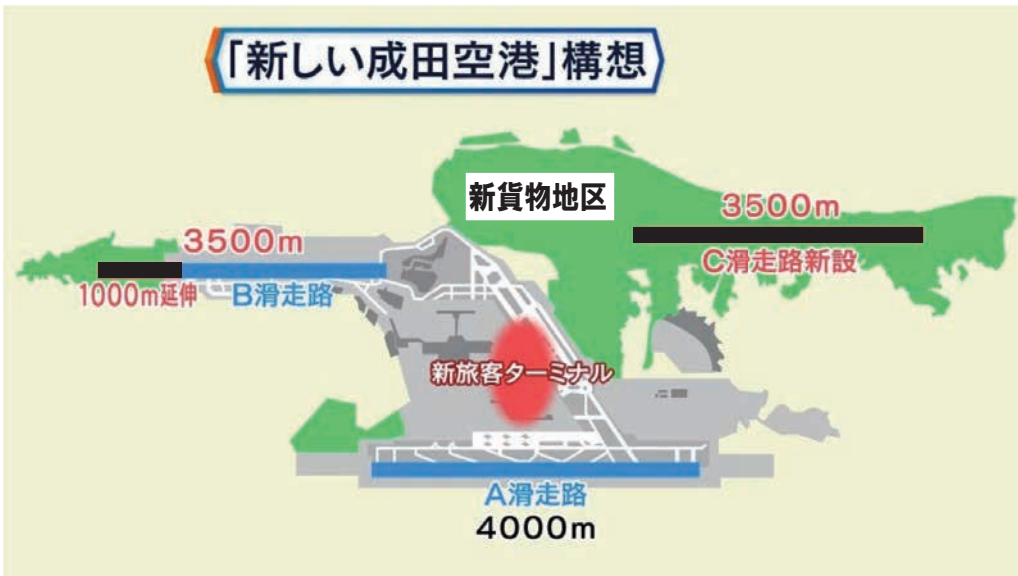


国の施設変更許可は無効！ 成田拡張工事を今すぐ止めろ！

12・24空港拡張差し止め裁判 に集まろう！

みなさん。私たちは千葉地裁(民事第3部・岡山忠広裁判長)で空港拡張差し止め裁判をたたかっています。この裁判は、国と成田空港会社(NAA)に対し、B滑走路の使用禁止・飛行差し止め、成田空港の更なる機能強化に伴う国の施設変更許可の無効確認とB滑走路延伸(3500m)・C滑走路建設など一切の工事差し止めを求めています。裁判と一体で成田空港拡張反対署名も呼びかけています(現在3247筆)。裁判傍聴とさらなる署名へのご協力をよろしく願います。

成田空港の今年度上期(4~9月)の航空機発着回数は、12万2千回でコロナ前の19年同期比9割に過ぎず、1年に換算しても25万回に届きません。巨大空港建設の時代は終わりました。劣悪な労働環境で人手は集まらず、羽田航空機事故にみられるように安全も崩壊しています。優良な農地を破壊し、周辺地域に騒音をまき散らす、更なる機能強化、「新しい成田空港」構想は百害あって一利なしです。「空港拡張工事を今すぐ止めろ!」の声を共に上げましょう。



NAAは機能強化と一体で「新しい成田空港」構想として、①ワンターミナル、②貨物地区を1カ所に集約、③鉄道の敷き直し、新駅建設を打ち出しています。鉄道以外の建設費を8000億円と試算。採算度外視で進める理由は有事の際の兵站(へいたん)拠点にするために他なりません

空港拡張差し止め裁判 12月24日(火) 午前10時30分~ 千葉地裁

NAAの言いなり！成田市の道路廃止処分の違法を追及

空港より農地が大切 道路を元に戻せ！ 団結街道裁判

団結街道（成田市道・天神峰—十余三線）は、天神峰で営農する市東孝雄さんにとって、自宅と南台農地を直線（約500m）で結ぶ日々の農作業に不可欠の道路でした。

ところが成田市は、成田空港会社（NAA）の「3本目の誘導路をつくるのに邪魔」との意を受け、廃道決定を下し、2010年6月に夜陰に乗じて暴力的に封鎖し、土地を格安でNAAに売り飛ばしました。住民が現に使用している道を成田市が廃止するという前例のない暴挙を追及して闘ってきたのが団結街道裁判です。

市東さんは封鎖によってこれまでの4倍の時間をかけて畑に行かなければならなくなっただけで、大変な危険が日々強いられています。16年には手伝いにきていた仲間が封鎖されなければ通ることのなかったトンネル内で追突事故にあい肋骨骨折など全治30日の大けがを負いました。さらに、封鎖後に建設された第3誘導路（建設費200億円）によって市東さんの家は空港の中に取り込まれ、誘導路を走行する飛行機の騒音や振動、排ガスが容赦なく自宅や作業場、ハウスに降り注いでいます。こんな人権侵害が許されているのでしょうか。

道路法第10条では、「（市長が）一般交通の用に供する必要がなくなったと認める場合において」廃道処分を下せるとなっていますが、市は交通量調査すらしていません。小泉一成成田市長は「機能補償道路ができると聞いていたから廃道にしたいと判断した」と繰り返し証言しましたが、市東さんはじめ一般車両（1日120台以上）が団結街道を現に通行していた以上、そんな言い訳は成り立ちません。道路法の要件を満たしていなかったことは明らかです。

10月25日、本人尋問に立った市東さんは「NAAは右肩上がり予測をもとに年間発着回数を50万回にするとするが、開港から40年以上たっても30万回も実現していな



い。空港よりも農地の方が大切だと私は確信している。農民にとって農地は命。土地がある限り、農業をやり続けるという私の気持ちは変わらない。裁判所に対しては、廃道処分を取り消して元に戻せと言いたい。空港一辺倒のやり方をやめ、公正な判断を下すべきだ」と迫りました。

みなさん。千葉地裁に駆けつけ、NAAの言いなりに違法な廃道処分を下した成田市を徹底追及しましょう。

団結街道裁判

1月24日（金）10時半～ 千葉地裁
2月28日（金）13時半～ 千葉地裁 結審

日米共同統合演習「キーン・ソード25」過去最大規模で実施 全国12カ所 民間空港の軍事使用弾劾！

10月23日～11月1日、日米共同統合演習「キーンソード25」が過去最大規模の自衛隊3万3千人、米軍1万2千人を動員して行われました。全国12カ所の民間空港が軍事使用され、木更津駐屯地に暫定配備中の陸自オスプレイV22も参加しました（写真）。



11月14日には、米軍のオスプレイが民間空港である奄美空港に2機、福岡空港に4機が相次いで着陸しています。なし崩しの民間空港の軍事使用を絶対に許すことはできません。共に抗議の声を上げましょう。

離陸できず左翼下部が地面と接触して機体が損傷した陸自オスプレイV22（27日 与那国）

“戦争を止め、社会を変える力がここにある” 日比谷野外音楽堂に3000人

11・3全国労働者総決起集会
改憲・戦争阻止1万人大行進

11月3日、東京・日比谷野外音楽堂で開かれた「11・3全国労働者総決起集会 改憲・戦争阻止！1万人大行進」に3000人が集まりました。反対同盟を代表して萩原富夫さんが連帯のあいさつを行いました。



巨大軍事空港建設許さない
敷地内・東峰
萩原富夫さん

三里塚は軍事空港建設に反対し、58年間皆さんと共に多くの犠牲を払い、たくさんの人に支えられ闘いぬいてまいりました。日本政府が今、アメリカと一緒に中国への侵略戦争準備を進める中、成田空港は巨大軍事空港へと大改造されようとしています。

われわれは空港建設よりも農業、金もうけよりも食料、命、環境が大切だと訴えてまいりました。そんな大切な農地を戦争のために空港に売ることにはできません。

国家権力が警察の暴力で市東さんの農地を奪い、営農を破壊し、生活を破壊して市東さんを追い出そうとするならば、われわれは体を張って闘います。

これが民主主義です。選挙で勝って権力を握ったからといって何をしてもいいということではありません。政府が戦争をしようとするならば、体を張ってそれを止めることが必要です。皆さん、そうでしょうか？

三里塚はこれからも市東さんの農地を守り、空港機能強化、巨大軍事空港建設を許さず、成田空港の廃港まで闘います。沖縄を戦場にしない、パレスチナ人民虐殺を許さない、広島、長崎、そして福島、反戦・反核、反原発の闘いと共に闘っていきます。



地域住民の声

今回は夜間の飛行差し止めを求める芝山町の住民から。一日中、空港に係る騒音に悩まされる中、夜間飛行だけは止めてほしいという切実な訴えです。

◆夜間飛行差し止めは生きるためのギリギリの訴え。国・NAAは住民の健康を守る責任がある。 芝山町 女性

芝山には1983年から住んでいます。住んでいる場所はA滑走路のちょうど南側です。

裁判長や国のみなさんにわかっていたきたいことは、この訴えは私にとって譲歩した訴えだということです。

朝6時に起きたとたん飛行機の騒音は始まります。私は、日中は外で過ごすことがほとんどで、農作業、洗濯物を干したり、買い物など、ふいに襲ってくる音は本当にストレスになります。

特に、会話中は相手の声がまったく聞き取れず本当に、いらいらします。

飛行機が飛んでいる間は眠れる状態ではありません。布団に入るのをあきらめ、すべての飛行機が飛び終わった後の24時頃に寝る以外にありません。慢性の睡眠不足状態です。

空港からの音は飛行音だけではなく、強風が吹けば警報のサイレンがなりますし、鳥が飛べば、それを散らすた

めにパンパンと空砲の音がします。夜中も滑走路整備のためなのか、カーン、カーンと高い音がしたり、エンジンテストなのかゴーと響く音がしたりします。一日中、空港関連の騒音の中で生活しなければならぬのですから、せめて夜間の飛行音だけでもとめてほしいと思っています。

一緒に原告になろうと誘った方から「たとえ裁判で勝って10時間飛行機が止まっても、残り14時間騒音にさらされるといって自体が我慢できない」と言われたり、家族で住む住民からは「子どもが宿題をしたり、学校であったことを話をしたりする夕方の時間も止めてほしい」と訴えられました。

今回、裁判で訴えた夜9時からの飛行差し止めというのは、眠って健康を保つためのギリギリ必要な時間です。生活を豊かに楽しめる時間では決してありません。人が住む内陸に空港を造ると決めたのは国とNAAです。この地に住む住民の健康を守る責任は当然あると思います。生活をする上で大きな要求ではなく、生きていくためのギリギリの訴えであることをわかっていたきたいと思います。

裁判を始めてからすでに5人の住民が亡くなっています。7月に直前まで元気だった人まで亡くなってしまい、残された私たちもこの騒音が私たちの健康に及ぼしている悪影響について、今まで以上に不安を感じています。

これ以上、亡くなる方を出したくない。被害が広がるのを待つことなく、飛行差し止めの判決が出ることを願っています。